

# 胡子雅信後援会入会申込書

FAX: 0823-57-2184

■ご記入日：平成28年 月 日 新規・継続（いずれかに○を）

|                |                           |     |   |
|----------------|---------------------------|-----|---|
| フリガナ<br>入会者ご芳名 |                           | 男・女 | 歳 |
| ご自宅住所          | 〒737- 江田島市（江田島・能美・沖美・大柿）町 |     |   |
| 電話             | (0823) -                  |     |   |
| FAX            | (0823) -                  |     |   |
| メール            | @                         |     |   |
| ご家族のご芳名        | 続柄（ ）                     |     |   |
|                | 続柄（ ）                     |     |   |
|                | 続柄（ ）                     |     |   |
| ご紹介者           | 〒737- 江田島市 西(0823) -      |     |   |

※ご記入いただきました個人情報、後援会活動の趣旨以外には使用いたしません。

## 誰にでもできる後援会活動

告示前は『投票を頼む』というような選挙活動はできませんが、次のようなことは自由にできます。

- 後援会をつくったり、拡大強化すること。
- 後援会への加入を友人や会社の人に勧めること。
- 個人や団体で候補者を推薦すること。

### ■後援会規約（抜粋）

- 本会は、胡子雅信氏の政治活動を後援し、かつ、会員相互の親睦を深めることを目的とします。
- 本会は、前条の目的を遂行するため、次の事業を行います。
  1. 講演会・座談会などの開催
  2. 会報などの発行および配布
  3. 関係諸団体との連携
  4. その他本会の目的に関連する事業
- 本会の経費は、会費・寄附金その他の収入をもって充当します。

|   |  |  |
|---|--|--|
| <b>[学歴・経歴]</b><br>大柿町立深江小学校卒<br>大柿町立大柿中学校卒<br>修道高等学校卒<br>慶応義塾大学法学部卒<br>日本郵船勤務(7年) | <b>[政治経歴]</b><br>大柿町議会議員<br>江田島市議会議員<br>(現在4期11年目)<br>元・副議長<br>元・議会改革特別委員長 | <b>[所属]</b><br>NPO法人ひろしま創発塾<br>WILL(広島若手地方議員の会)<br>えたじま国際交流ボランティア<br>江能修友会事務局長<br>広島県市町議会議員政策研究会 |
|---|--|--|

## 胡子雅信後援会

2~3名様から出張報告します。お気軽にご連絡下さい。

住所：〒737-2213 江田島市大柿町大原5563-4  
 電話&ファックス：0823-57-2184  
 E-MAIL：ebisu7@nifty.com  
 ブログ：http://mebisu924.cocolog-nifty.com/etajima/



# 創新

会報第29号(議会報告)

## 江田島市議会議員 胡子まさのぶ



「あいさつ」  
江田島市が誕生して12年経ちます。何かお

### 平成28年度議会報告会

今年で3回目の議会報告会が7月に4会場で開催されました。

| 開催日時                    | 会場                   | 参加人数             |
|-------------------------|----------------------|------------------|
| 7月12日(水)<br>13:30~15:30 | 江田島公民館<br>4階 会議室     | 16人<br>男12人/女4人  |
| 7月14日(金)<br>13:30~15:30 | 市役所本庁<br>2階 会議室      | 15人<br>男13人/女2人  |
| 7月15日(金)<br>13:30~15:30 | 沖美ふれあいセンター<br>2階 研修室 | 11人<br>男8人/女3人   |
| 7月16日(土)<br>19:00~21:00 | 大柿公民館<br>2階 研修室      | 33人<br>男16人/女17人 |

【江田島地区】  
第1部は6月定例会の概要、3常任委員会（総務・文教厚生・産業建設）の報告。  
第2部は「地域のまちづくり」をテーマとした意見交換会で各会場での質問・提言は以下の通り。（答弁は省略）

- ・市外居住職員
- ・災害復旧の基準
- ・財政問題、夕張市に
- ・ならないか
- ・架橋構想など
- ・認定こども園等の統

【能美地区】  
公共施設の投資（改修・新築）を市民に「見える化（HP等で公表）」できないか  
行財政改革、財政計画、定員適正化計画について  
定住・移住には「教育の充実」が不可欠  
教育の質を高めてはどうか（小中一貫教育、クラブ活動）

【沖美地区】  
思い切ったイノベーションを  
老々介護など、福祉問題をどう考えるか  
沖地区は子どもが増え、低学年の遊び場（公園）が無くて困っている  
議会報告会の参加者が少ない。議会モニター制度導入は  
地震等災害が発生した場合のデータ・バックアップは  
公務活動費は適正か  
小中学校の耐震化を早急に

【大柿地区】  
地震の津波対策は  
職員のスキルアップについてもう少し踏み込んでほしい  
議会基本条例で議会はどう変わったか  
合併協議会議事録を読んだことは  
義務教育（小中学校）をどう考えているか  
職員の市外居住（特に広島市）について  
江田島市立大柿高校の検討および島外進学した生徒の進路調査をすべき  
津久茂・広島架橋構想について  
オリーブ等を植林し、治山事業で栄養たっぷりの水が海に流れて水産業も潤う仕組みづくり  
空家対策も大切だが、空地対策を何とかしてほしい（危険家屋を取り壊したら空地になり、放っておくと草ボウボウで衛生上よくない）





# これまでの提言で実現した主なこと



## 【教育】

- 子ども議会（市内小中学生対象）  
H21年3月定例会で提言 ⇒ H22・H23年2月に実施  
H27年12月定例会で子ども議会の再開と少年議会を提案
- 大柿高校への支援拡充  
H27年6月定例会で提案（公営塾など）  
⇒ H28年6月から公営塾「おおがき暁塾」スタート

## 【行財政改革】

- 一般職の任期付職員の採用等に関する条例（H23年9月定例会で条例化）

## 【議会改革・情報公開】

- 議会基本条例（H26年4月1日施行）  
副議長及び議会改革特別委員長として議会基本条例に取り組む ⇒ 実現
- 議会報告会  
H25年 5月 議会改革特別委員会報告会  
H26年11月 第1回報告会開催  
H27年 7月 第2回報告会開催  
H28年 7月 第3回報告会開催（写真：沖美会場）



## 【交通網の充実】

- 深江バス路線の延長（H21年4月1日から「深江～須野本」新設）
- 市営船の公設民営化（H27年10月から指定管理者制度（瀬戸内シーライン）導入）  
H18年12月定例会から民間委託を提言し、約8年9ヶ月後に実現  
指定管理者選定委員会の外部委員任命及び結果公表を提言 ⇒ 実現

## 【市民生活・まちづくり】

- 地域おこし協力隊（H26年12月定例会で提言）⇒ 実現（H28年度、4名着任）
- まちづくり出前講座  
H21年12月定例会で提案（消防の出前講座はあった）⇒ H24年4月からスタート
- 「資源ごみ（空き缶など）」持ち去り禁止（H25年9月で条例改正提言、12月実現）  
家庭から排出された【ごみステーション】の資源ごみは、「所有権は市に帰属」し、民間事業者が無断で持ち帰ることを禁止。

# 他地域との連携 ～ ネットワークづくり



- 広島クラブ 運営委員  
広島県市町議会議員及び県議の政策研究会
- 広域連携ローカルリンク広島西・山口東  
広島広域都市圏発展ビジョンの勉強会
- くれ創生塾 理事（若手経営者との勉強会）
- NPO法人ひろしま創発塾 理事  
行政マン・民間人・議員が地方自治を学ぶ
- ←【模擬議会inえたじま】（左写真）  
（平成24年2月開催）
- 全国若手市議会議員の会 など

# 江田島市になって12年



平成16年11月に江能4町が合併して早くも12年が経ちます。4期11年の議員活動を通して、地域にむき、また、幅広い世代の市民や各種団体と意見交換し、行政に対して提言し、一定の成果は上がりました。（左ページ）

また、議会改革にも積極的に取り組み、平成25年には、副議長および議会改革特別委員長として上田議長（当時）を補佐し、「議会基本条例」を取りまとめ、改選後の平成26年

度から「議会報告会」を開催しています。今年度の議会報告会でも、人口減少と高齢化が進むなか、この12年間の閉塞した雰囲気や声もあり、また、地域・世代・業種を問わず幅広い層の市民との対話のなかでも同様のことを感じます。

平成26年に広島市と締結した【交流海生協定】及び国による地方創生の機運と【江田島市人口ビジョンおよび総合戦略】、今年度からスタートした広島市を中心とした山口県を構成する【広島広域都市圏発展ビジョン（連携中核都市圏の取組）】、また、今年4月に中核市となつた呉市が江田島市を含む10市町と新たに「連携中

核都市圏」形成に向けて協議に入ります。これは広島湾の中心に位置する、地域資源が豊富な江田島市にとって願ってもない追い風であり、このタイミングを逃すわけにはいきません。

相撲に例えるなら、「徳儀」に追い込まれながらも「消滅可能性都市」という忍び寄る「大きな荒波」に「うちやり」を入れる「最後のチャンス」です。

## (1) 「透明性」

これまでの江田島市

は議会や市民に対して十分な「情報公開」をしてこなかった。例を挙げると、秋月ごみ処理場不法状態の適正化事業、「能美海上ロツジ・シーサイド温泉のうみ・サンビッチおきみ」指定管理者制度の移行経緯など議会としても説明できなかった問題があります。行政が説明責任を果たさず、市民との信頼関係が築けないまま時間が過ぎてきたこの12年。持続可能な江田島市であるために昨年度策定された第3次行財政改革の着実な推進が求められます。『行政評

また、介護保険制度改正による福祉問題、能美海上ロツジ老朽化問題など専門性の高い喫緊の課題については「任期付職員制度」を活用したプロジェクトチームによる早期対応が必要と考えます。

# 「透明性」と「対話」のまちづくり

「事務事業評価シート」があり、第三者による外部評価システムを取り入れることで健全な『自治体経営』の指標になると考えます。

## (2) 「対話」

江田島市は31自治会あり、それぞれ固有の文化と歴史がある。全体最適の「まちづくり」も必要だが、個別の地域性を生かす「まちづくり」も大切です。

トップ自ら地域に向き、定期的にミニ集会を繰り返すことで、地域にとって本当に必要なことを把握し「まちづくり」に生かすことが大切です。

「協働のまちづくり」の原点は「地域の困りごと」を行政と一緒に悩んで、考えて、解決することではないでしょうか。

その大前提として「情報公開」をきっちり行うことが大切であり、(1)にある「透明性」の確保が求められます。「行政と市民」の「信頼関係」を再び築き上げ、持続可能な江田島市に向けて「舵」を取ることが求められます。

江田島市は31自治会あり、それぞれ固有の文化と歴史がある。全体最適の「まちづくり」も必要だが、個別の地域性を生かす「まちづくり」も大切です。